

令和５年度 広島女学院大学、比治山大学・比治山大学短期大学部と東区役所との地域連携事業報告

No.	分 類		項目（事業）	事業の目的	連携内容	実施日・実施期間	参画学生数等	担当			備 考
								東区役所	広島女学院大学	比治山大学・ 比治山大学短期大学部	
1	1	まちづくりの推進	夏の夜、祈りと平和のタベ	東区二葉の里歴史の散歩道沿いにある神社仏閣の石灯籠や参道に「平和の灯」から採火した炎でろうそくを灯し、平和のタベを開催することにより、原爆によって亡くなられた人々の霊を慰め世界平和を祈念する。	魅力づくり事業「夏の夜、祈りと平和のタベ」イベントのチラシ・ポスターのデザイン協力、七社寺の通訳ガイドを実施した。	令和5年8月5日	比治山大学 学生4名 教職員2名		—	短期大学部美術科 現代文化学部 言語文化学科	
2			エキキタ・スイーツラリー	エキキタの魅力の一つであるスイーツ店を巡るスタンプラリーの企画を実施することで、多くの方にエキキタを訪れていただき、エキキタのにぎわい、元気、人の交流を取り戻して、地域の経済活動への支援につなげる。	「エキキタ・スイーツラリー」において、リーフレット等のPR活動等へ参画した。	令和5年9月～令和6年3月	広島女学院大学 学生54名 比治山大学 学生36名		人間生活学部 生活デザイン学科	健康栄養学部 管理栄養学科 短期大学部 総合生活デザイン学科	
3	2	教育・文化・スポーツの振興及び健康づくりの推進	大学の地域貢献の取組などを紹介する展示	大学の行事や地域貢献の取組を通して、地域の知的財産である大学をPRするとともに、大学と地域の協力関係を紹介する。	区役所1Fロビーに展示コーナーを設け、各大学の地域貢献の取組の紹介を行った。	令和6年2月19日～3月15日	広島女学院大学 比治山大学 各教職員・学生	地域起こし推進課	研究支援・社会連携センター	生涯学習・地域連携センター	
4			城下町広島の歴史講座	「暮らしの中に歴史・文化がいきづくまち」づくりを進めるため、二葉の里歴史の散歩道に広がる歴史・文化財の魅力の発信や多くの人が訪れる仕組みを作る。	希望する学生が、二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会・二葉公民館・東区役所が主催する「城下町広島の歴史講座」の運営(準備、受付、片付けなど)に参加した。	令和5年11月18日	広島女学院大学 学生6名		人間生活学部 生活デザイン学科	—	
5			二葉の里歴史の散歩道巡り(二葉の里～山根町)	「二葉の里歴史の散歩道」に、少しでも多くの市民が訪れるような環境づくりを進めていくとともに、インバウンドを含めた観光客等の来訪者の受け入れ態勢の模索・確立を図る。	希望する学生を対象に、ボランティアガイドの会会員の解説で「二葉の里歴史の散歩道巡り」を実施した。	令和5年12月2日	広島女学院大学 学生6名		人間生活学部 生活デザイン学科	—	
6			広島ユース・ホステル跡地の活用検討	広島ユース・ホステル跡地の活用について、地域住民や関係者の意見を踏まえて検討を行う。	ワークショップにおける専門的な知識によるアドバイスや、試行実施における学生による運営補助(受付業務、子どもの遊びにおけるプレイリーダー(補助))により、ワークショップ及び試行実施を開催することができた。	第1回ワークショップ 令和5年9月29日 冒険遊び場試行実施 令和5年11月11日 第2回ワークショップ 令和6年1月29日	第1回WS 教職員2名、学生2名 試行実施 教員1名、学生9名 第2回WS 教員1名	地域起こし推進課 (経済観光局観光政策部MICE戦略担当)	—	生涯学習・地域連携センター 短期大学部幼児教育科	
7			認知症サポーター養成講座	高齢化の進展に伴い、認知症の方も確実に増加することが予想されている。本人や家族が住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるためには、認知症を正しく理解し、地域で認知症の方々を温かく見守る応援者(認知症サポーター)を一人でも多く育成する。	専門の講習を受けた認知症アドバイザーが、標準テキストとロールプレイを交えて90分の講義を行った。 《標準テキストの内容》 ・認知症とは 症状と支援 診断と治療 認知症の人への関わり方 ・認知症サポーターのできること	広島女学院大学 令和5年8月30日 比治山大学 令和5年12月18日	広島女学院大学 学生46名 比治山大学 学生39名	地域支えあい課	人間生活学部 管理栄養学科	健康栄養学部 管理栄養学科	
8			がん予防講演会	がん予防に関する基礎知識の普及啓発を行う。	大学と内容を協議し、大学生と職員等を対象に、がん予防に関する講演会を実施した。	令和5年11月14日	広島女学院大学 学生208名		人間生活学部 管理栄養学科	—	

令和５年度 広島女学院大学、比治山大学・比治山大学短期大学部と東区役所との地域連携事業報告

No.	分類		項目（事業）	事業の目的	連携内容	実施日・実施期間	参画学生数等	担当			備考
								東区役所	広島女学院大学	比治山大学・ 比治山大学短期大学部	
9	2	教育・文化・スポーツ の振興及び健康づくり の推進	エイズ啓発街頭キャンペーン	エイズに関する正しい知識等の普及啓発活動を行い、エイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消等を図る。	広島駅北口の通行人に対し、エイズ啓発用のパンフレットを差し込んだティッシュを配布した。	令和5年12月1日	広島女学院大学 学生3名	地域支えあい課	人間生活学部 管理栄養学科	健康栄養学部 管理栄養学科	
10			大学祭における栄養・食生活改善の普及啓発	若い世代に対する食育推進、健康づくりに関する普及啓発を行う。	管理栄養学科学生と連携し、食育の推進、健康づくり（飲酒、歯科保健等）に関する展示等を行った。	広島女学院大学 令和5年11月13日 比治山大学 令和5年10月28日～29日	大学祭来場者 広島女学院大学：230人 比治山大学：315人		人間生活学部 管理栄養学科	健康栄養学部 管理栄養学科	
11			ふたば交流ラウンジ展	様々なテーマの展示を行うことで、交流ラウンジを有効に活用し、来館者への情報提供を図るとともに、学習意欲や知的好奇心の向上を目指す。	比治山大学学生の描いたマンガの作品展示	令和5年9月1日～9月28日	比治山大学 学生20名	二葉公民館	—	美術部マンガ・キャラクターコース	
12			ふくだカレッジ	東区内の比治山大学が持つ優れた研究・教育機能を日常生活と結びつけ、住民が取り組みやすい内容について情報を提供し、地域の生涯学習に対する意欲向上と学習活動を支援する。	比治山大学の協力により、住民に様々なテーマについてアカデミックで分かりやすく講義していただいた。「弥生青銅器と地域社会」「災害時における食からの支援」「なぜゴミを捨てられないのか：ため込みの心理学」	令和5年 ①7月22日 ②8月26日 ③9月6日	8月26日 比治山大学 学生2名	二葉公民館 (福田公民館)	—	生涯学習・地域連携センター	
13			へさかカレッジ	公民館の近隣にある比治山大学と連携し、健康・環境・食文化をキーワードにして幅広い問題について様々な視点から考察し学習する。	比治山大学の協力により教員の中から講師を選定していただくとともに、大学の公開講座パンフレットに掲載していただき、広く受講者を募集していただく。「減らそう！家庭の食品ロス～今よりもっと、何ができる？～」	令和5年8月25日	比治山大学 教職員1名	二葉公民館 (戸坂公民館)	—	生涯学習・地域連携センター	
14			チャレンジ楽校	子ども達が調理実習を通じて食と栄養について学ぶ機会を提供する。	年間を通して実施する子ども実施事業「チャレンジ楽校」のうち1回を、比治山大学健康栄養学部管理栄養学科の教員に講師を依頼し、また同学科の学生に指導補助者になっていただき、調理実習を行い、子ども達に食と栄養について学んだ。（へさかきつずクッキング）	令和5年12月2日	比治山大学 学生2名 教職員1名	二葉公民館 (戸坂公民館)	—	健康栄養学部 管理栄養学科	
15			うしたカレッジ	地元の教育機関である比治山大学と連携し、公民館でオープンカレッジを開催することで、地域住民の高い学習要求に対応した生涯学習機会を提供する。	比治山大学の協力により教員の中から講師を選定していただき、英会話講座（初級）について学習した。	令和5年 ①11月4日 ②11月11日 ③11月25日	比治山大学 教職員3名	二葉公民館 (牛田公民館)	—	生涯学習・地域連携センター	
16			早稲田アカデミー	公民館エリア内にある大学が持つ優れた研究・教育機能を日常生活と結びつけ、身近な課題として公民館で学習する機会を提供する。住民の学びへの参加を推進し、その学びを早稲田地区のまちづくり活動に生かし、地域の人材育成につなげる。	地域課題や早稲田女性会からの要望を反映した案を基に、教務課に依頼し、講師を選定していただいた。広島女学院大学の協力により年6回程度、講義を行った。	令和5年 ①5月29日②6月23日 ③7月27日④8月30日 ⑤9月22日⑥11月27日	広島女学院大学 教職員6名	二葉公民館 (早稲田公民館)	教務課	—	
17			あったか冬まつり 紙と風船でミニ雪だるまを作ろう	こもりがちな真冬に地域住民の交流を図ろうと早稲田女性会と共催し早稲田あったか冬まつりを開催する。その一環で広島女学院大学日本文化サークルの学生有志が子ども向けの工作コーナーを企画運営する。学生の手によって地域の子どもたちが日本文化にふれる体験活動の場を提供する。	広島女学院大学日本文化サークルの学生と担当教授と打合せを行い、広報、参加者募集を公民館が行った。工作材料等は日本文化サークルが準備した。	令和6年1月28日	広島女学院大学 教職員1名、学生8名	二葉公民館 (早稲田公民館)	日本文化サークル	—	

令和５年度　広島女学院大学、比治山大学・比治山大学短期大学部と東区役所との地域連携事業報告

No.	分類		項目（事業）	事業の目的	連携内容	実施日・実施期間	参画学生数等	担当			備考
								東区役所	広島女学院大学	比治山大学・ 比治山大学短期大学部	
18	3	人材の育成	常設オープンスペース「東区子育て交流ひろば“ぽっぽひがし”」への参加	大学生が乳幼児とその保護者と交流することで、生命の大切さや思いやりの心を育む。	比治山大学短期大学部幼児教育科の学生が子育て交流ひろばでパネルシアターや手遊びを実施し、親子と交流した。	①令和5年11月7日 ②令和6年1月22日	比治山大学 学生2名 教職員1名	地域支えあい課	—	短期大学部 幼児教育科	
19			広島女学院の学生に対し、出産・子育てに関する助産師の講演の実施	出産・子育てに関する助産師の講演を実施し、生命の大切さについて理解を深めるとともに、思いやりの心を育む。	広島女学院大学の学生に対し、出産・子育てに関する助産師の講演を実施した。	令和5年8月29日	広島女学院大学 3年生46人、 教諭4人	地域支えあい課	人間生活学部 管理栄養学科	—	